

歯周病学

責任者・コーディネーター	歯科保存学講座（歯周療法学分野）佐々木 大輔 教授			
担当講座（分野）	歯科保存学講座（歯周療法学分野）			
対象学年	3	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習	実習
期間	通期		前期 14.0時間	—
			後期 38.0時間	32.0時間

学修方針（講義概要等）

歯周病学の内容は、歯周病の発症機構と病態を理解するための基礎的歯周病学と、臨床における歯周治療および歯周管理を学ぶ臨床歯周病学に大別される。前者では、歯周組織の構造と機能、歯周病の原因論、病態生理およびリスク因子について学修し、歯周病を慢性炎症性疾患として科学的に理解する。後者では、歯周病の病態を把握し治療方針を決定するために歯周検査を行う意義を理解するとともに、検査の目的、種類および評価法を学修し、得られた所見に基づく診断の考え方を理解する。その上で、歯周基本治療および歯周外科治療について、その適応、原理、治療の流れ、代表的な術式ならびに治癒機転を学び、再評価、口腔機能回復治療、メンテナンスおよびSupportive Periodontal Therapy (SPT) へと至る一連の歯周治療体系を学修する。さらに、歯周病と全身疾患との関連（ペリオドンタルメディシン）や、侵襲性歯周炎などの特殊な歯周疾患についても概説し、歯周病学を包括的に理解する。実習では、歯周検査および口腔清掃指導に加え、歯周基本治療や歯周外科治療の基本手技を学修し、歯周治療に必要な基礎的スキルと臨床的思考力を養う。

教育成果（アウトカム）

本講義・実習を履修した学生は、以下の能力を修得する。

1. 歯周組織の構造と機能ならびに歯周病の発症機構、病態生理およびリスク因子について説明できる。
2. 歯周病の病態を把握するために歯周検査を行う目的を理解し、検査の種類と得られる所見の意義について説明できる。
3. 歯周検査結果に基づき、歯周病の診断および治療方針決定の基本的考え方を説明できる。歯周基本治療および歯周外科治療について、その適応、原理、代表的な術式ならびに治癒機転の概要を説明できる。
4. 歯周治療の流れ（検査、診断、歯周基本治療、再評価、歯周外科治療、再評価、口腔機能回復治療、再評価、メンテナンス・SPT）を体系的に説明できる。
5. 歯周病と全身疾患との関連（ペリオドンタルメディシン）および特殊な歯周疾患の概念について概説できる。
6. 歯周検査および口腔清掃指導を適切に実施できる。
7. 歯周基本治療および歯周外科治療に関する基本的手技を、指導下で安全に実施できる。
8. 歯周治療における長期管理の重要性を理解し、メンテナンスおよびSPTの意義を説明できる。
9. 歯周病学を包括的歯科医療の一分野として捉え、将来の臨床実習および歯科医療実践に必要な基礎的姿勢を身につける。

（関連するディプロマポリシー：1、2、3、4、5、6、8、9）

到達目標 (SBOs)

1. 歯周組織の構造と機能ならびに歯周病の発症機構および病態を説明できる。
2. 歯周病の主な原因因子およびリスク因子を理解し、その意義を説明できる。
3. 歯周病の病態把握および治療方針決定のために歯周検査を行う目的を説明できる。
4. 歯周検査の主な種類と評価項目を理解し、診断の基本的考え方を説明できる。
5. 歯周治療の基本的な流れ（診断、歯周基本治療、再評価、歯周外科治療、メインテナンス・SPT）を説明できる。
6. 歯周基本治療および歯周外科治療について、その目的、適応および治療原理の概要を説明できる。
7. 歯周基本治療および歯周外科治療における治癒機転の概要を説明できる。
8. 歯周病と全身疾患との関連（ペリオドンタルメディシン）および特殊な歯周疾患の基本的概念を説明できる。
9. 歯周検査および口腔清掃指導を適切に実施できる。
10. 指導下において、歯周基本治療や歯周外科治療に関する基本的手技を安全に実施できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

【事前学修】

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

【事後学修】

講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて事後学修を行うこと。各授業に対する事後学修の時間は平均45分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

(事前学修：最低30分を要する 事後学修：最低45分を要する)

講義/演習/実習日程表

区分	月日 (曜)	時限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	6/8 (月)	1	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病学概要説明 歯周病学、歯周治療学 で修得すべき事を理解 する。	1. 歯周治療の対象となる歯周組織の 病態、診査・診断・治療方法を総合 的に説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版1-4p、臨床歯周病学3版1編2-31p を読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	6/15 (月)	1	八重柏隆客員教授	歯周病の基礎知識、リ スクファクター 歯周病の基礎知識とリ スクファクターを理解 できる。	1. 歯周病の基礎知識を説明できる。 2. 歯周病のリスクファクターを説明 できる。 3. コア歯学で修得必要な項目を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第1、2章1-53p、臨床歯周病学3 版1編23-62pを読んでまとめてお く。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	6/22 (月)	1	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病の診査・診断 歯周病の診査・診断を 理解できる。	1. 歯周病の診査・診断を説明でき る。 2. 歯周病診査に必要な器具を列挙で きる。 3. 歯周病の診断の臨床的意義を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第4章76-99p、臨床歯周病学3版 63-85p、96-123pを読んでまとめて おく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	6/29 (月)	1	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 (概要) 診査・診断、治療計 画、歯周基本治療を理 解できる。	1. 歯周疾患の診査・診断、治療方針 および治療計画の流れを説明でき る。 2. 説明と同意の重要性を説明でき る。 3. 治療計画立案の必要項目を列挙で きる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章100-128p、臨床歯周病学3 版78-85p、96-114p、124-148pを 読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	7/6 (月)	1	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 応急処置, 患者のモチ ベーション、プラーク コントロール他につい て理解できる。	1. 歯周疾患の急性症状の診断・応急 処置について説明できる。 2. 歯周治療に必要なモチベーショ ンについて説明できる。 3. 歯周治療に必要なブラッシング法 の種類と特徴を列挙して説明でき る。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章108-120p、臨床歯周病学3 版124-164pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	7/13 (月)	1	鈴木啓太助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 (咬合・咬合調整・暫 間固定他) 外傷性咬合と咬合調 整・暫間固定を理解で きる。	1. 咬合の基本事項について説明でき る。 2. 外傷性咬合と咬合性外傷を説明 できる。 3. 咬合性外傷の症状を説明でき る。 4. ブラキシズムを説明できる。 5. 咬合調整を説明できる。 6. 暫間固定を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章128-132p、臨床歯周病学3 版78-85p、165-180pを読んでまと めておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	8/24 (月)	2	石河太知教授 (微生物学講座 分子 微生物学分野)	歯周病の細菌学 歯周疾患と細菌(感染 と免疫)について理解 できる。	1. 口腔細菌、歯垢および歯石を説明 できる。 2. 歯周疾患の症状を細胞レベル、分 子生物学的レベルで説明できる。 3. 歯周病における感染と免疫を説明 できる。 [D-3-2-3、4] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第1章14-24p、臨床歯周病学3版 32-49pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	9/14 (月)	3	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周基本治療 SRP、スケーラーおよび PMTCを理解できる。	1. 歯周治療に必要なSRPを説明でき る。 2. 治療に用いるスケーラーを説明で きる。 3. PMTCを説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章120-128p、臨床歯周病学3 版149-164pを読んで到達目標につい てまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	9/14 (月)	4	村井治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	診査と説明・指導 診査結果と病状説明、 口腔清掃指導を理解で きる。	1. 診査結果を説明できる。 2. 病状説明のポイントを説明でき る。 3. プラークコントロール方法を説明 できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章110-120p、臨 床歯周病学3版96-115p、138-148pを 読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
実習	9/28 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周組織の診察と検 査・口腔清掃指導 診察と検査、口腔清掃 指導について理解でき る。	1. 検査結果を用いて歯周病患者に対 する歯周病の病状を適切に説明でき る。 2. ブラッシング法の種類と特徴を列 挙し説明できる。 3. 歯周組織の診査項目および必要な 診査器具を列挙し、説明できる。 実習内容（事前レポート）に関して 担当教員とディスカッションする。 [E-5-3-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第4章76-89p、第5 章112-119p、臨床歯周病学3版96- 107p、138-148pを読んでまとめてお く。 事後学修：実習理解が不十分であつ た箇所については、歯周基礎実習 書、講義資料や教科書等を用いて知 識および模型を用いて技能の補充を 行う。
実習	10/5 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	SRPとPMTC（模型実習） SRPとPMTCを適切に実施 できる。	1. SRPに用いる器具を選択できる。 2. 手用スケーラーによるSRP(ポジ ショニング含む)ができる。 3. 安全・感染予防の配慮ができる。 4. エアースケーラーを用いたスケー リングができる。 5. PMTCを模型上で実施できる。 実習内容（事前レポート）に関して 担当教員とディスカッションする。 [E-5-3-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章120-127p、 194-199p、臨床歯周病学3版149- 164p、309-317pを読んでまとめてお く。 事後学修：実習理解が不十分であつ た箇所については、歯周基礎実習 書、講義資料や教科書等を用いて知 識および模型を用いて技能の補充を 行う。

講義	10/19 (月)	3	相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病の分類と疫学 歯周病の分類、疫学に ついて理解できる。	1. 歯周病の疫学について説明でき る。 2. 歯周病に影響する要因を説明でき る。 3. 歯周疾患の分類について説明でき る。 [C-6-1-3、D-3-2全般、D-5-2-3全 般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第7章の237-244p、臨床歯周病学 3版86-95pを読んで到達目標につい てまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	10/19 (月)	4	相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	ペリオドンタルメディ シン ペリオドンタルメディ シンおよび高齢者(有病 者)の歯周病・注意点を 理解できる。	1. ペリオドンタルメディスン、歯周 病と関係する疾患(糖尿病および循 環器疾患等)との関連性を説明でき る。 2. 高齢者(有病者)の歯周病の特徴 と治療時の注意点を説明できる。 3. 全身疾患を有する者の歯周病治療 について(症例で)説明できる。 [D-2-4-1、D-3-2全般、D-5-2-3全 般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第3章の54-75p、臨床歯周病学3 版50-62p、356-364pを読んで到達目 標についてまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
講義	10/26 (月)	3	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	特殊な歯周病 特殊な歯周病を理解す る。	1. 特殊な歯周病(喫煙関連性歯周 炎、壊死性歯周疾患、薬物性歯肉増 殖症、剥離性歯肉炎、侵襲性歯周 炎、思春期の歯周病、女性の歯周病 等)を説明できる。 2. 遺伝に関わる歯周病(歯肉線維腫 症、Down症候群、Papillon-Lefèvre 症候群、低ホスファターゼ症等)を 説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第9章222-227p、254-276p、臨床 歯周病学3版365-376pを読んでまと めておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。

講義	10/26 (月)	4	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	薬物療法、レーザー治療 歯周治療に必要な薬物療法、レーザー治療について理解する。	1. 歯周領域の薬物療法(局所薬物配送システム他)を説明できる。 2. 歯周領域のレーザー治療を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修: ザ・ペリオドントロジー4版第5章200-207p、臨床歯周病学3版318-327p、336-344pを読んでまとめておく。 事後学修: 講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
実習	10/28 (水)	1	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病患者のエックス線画像読影(実習) 歯周病患者のエックス線画像を読影できる。	1. 歯周病患者のエックス線像の特徴・解決を要する問題点等を列挙して読影できる。 2. 咬合性外傷と根分岐部病変のエックス線像について説明できる。 3. 歯周病による骨吸収ラインを示して説明できる。 [E-2-5-4、E-5-3-3全般] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 事前学修: 歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第4章76-89p、臨床歯周病学3版96-107pを読んでまとめておく。 事後学修: 実習理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。
実習	10/28 (水)	2	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	咬合調整(実習) 模型上で咬合調整ができる。	1. 咬合を診査して咬合干渉部、早期接触部を特定できる。 2. 咬合調整の方法を説明できる。 3. 適切な削合により咬合調整できる。 [E-5-3-3全般] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 事前学修: 歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第5章130-131p、臨床歯周病学3版168-172pを読んでまとめておく。 事後学修: 実習理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。

実習	10/28 (水)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	咬合調整、暫間固定 (実習) 暫間固定ができる。	1. 適切な削合により咬合調整できる。 2. A-splintができる。 3. ダイレクトボンディング固定できる。 [E-5-3-3全般] 実習内容 (事前レポート) に関して担当教員とディスカッションする。 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第5章128-129p、臨床歯周病学3版168-172pを読んでまとめておく。 事後学修：実習理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。
講義	11/2 (月)	3	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科治療1 (概要) 歯周外科治療の概要を理解できる。	1. 歯周外科治療の概要を説明できる。 2. 各歯周外科の適応 (仮性ポケット、骨縁上ポケット、骨縁下ポケットに対応する歯周外科治療) を説明できる。 3. 歯周外科の基本、歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-169p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/2 (月)	4	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科治療2 (基本) 歯周外科治療の基本を理解できる。	1. 各歯周外科治療で使用する歯周治療用器具の種類と使用法および適応となる術式を説明できる。 2. 切開・縫合を行う際の適応および使用する器具を説明できる。 3. フラップ手術の流れ・術式を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-169p、臨床歯周病学3版181-206pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。

講義	11/9 (月)	1	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科治療3 (歯周組織再生療法) 歯周組織再生療法を理解できる。	1. 歯周組織再生療法の種類と適応症を説明できる。 2. 歯周組織再生療法の術式を説明できる。 3. 歯周組織再生療法に用いる材料および薬剤を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-169p、臨床歯周病学3版207-244pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/9 (月)	2	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科治療4 (ポケット除去療法の まとめ) 歯周外科治療のポケット除去療法の理解を深める。	1. 歯周外科治療後の創傷治癒の種類を説明できる。 2. 正常な歯周組織の生物学的幅径(骨縁上組織付着)を説明できる。 3. 上皮性付着、再付着、新付着の違いを説明できる。 4. 歯周外科治療のポケット除去療法を治癒過程の違いから切除療法、組織付着療法、歯周組織再生療法に分別できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章146-169p、臨床歯周病学3版207-244pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
実習	11/9 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科基本手技実習 (切開、縫合、模型使 用) 歯周外科の基本作業を実習できる。	1. 歯周外科の基本作業(各種切開方法他)を模型実習できる。 2. 縫合の種類を列挙し模型で縫合できる。 3. 模型で歯肉弁を作製しメス、持針器を扱うことができる。 [E-5-3-3全般] 実習内容(事前レポート)に関して担当教員とディスカッションする。 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオドントロジー4版第5章142-145p、臨床歯周病学3版181-187pを読んでまとめておく。 事後学修：実習理解が不十分であった箇所については、歯周基礎実習書、講義資料や教科書等を用いて知識および模型を用いて技能の補充を行う。

講義	11/16 (月)	1	大川義人非常勤講師 根分岐部病変と歯内- 歯周病変 根分岐部病変と歯内- 歯周病変を理解でき る。	1. 根分岐部病変の分類 (Glickman・Lindhe) を説明できる。 2. 歯根の保存・除去療法について説明できる。 3. 歯内-歯周疾患の成因と治療方法を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章132-134p、177-181p、臨床歯周病学3版245-256p、328-335pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/16 (月)	2	大川義人非常勤講師 高齢者の歯周病、予防 管理、特発病変への対 応 高齢者の歯周病、予防 管理、特発病変への対 応を理解できる。	1. 高齢者の歯周病を説明できる。 2. 歯周病の予防管理を説明できる。 3. 特発病変への対応を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第3、5、6、8章の該当箇所、臨床歯周病学3版309-317p、356-364pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/16 (月)	3	村井 治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野) 抜歯の基準、再評価、 メンテナンス、SPTを 理解する。	1. 抜歯の基準を説明できる。 2. 再評価の意義を説明できる。 3. 定期管理 (メンテナンスとSPT) を説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章135-136p、194-199p、臨床歯周病学3版96-115p、309-317pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。
講義	11/16 (月)	4	村井 治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野) 口腔機能回復治療 (歯 周-矯正、歯周-補綴 他) 口腔機能回復治療を理 解できる。	1. 口腔機能回復治療について説明できる。 2. 歯周-矯正治療について説明できる。 3. 歯周疾患患者の歯周補綴 (永久固定) ・インプラント治療について説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー4版第5章182-193p、臨床歯周病学3版267-308pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であった箇所については、講義資料や教科書等を用いて知識の補充を行う。

実習	11/25 (水)	1 2 3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周外科の実際 (歯周外科実習：豚顎 使用) (実習) 豚顎を使用して歯周外 科治療の基本を実習で きる。	1. 各種切開法を豚顎で実践できる。 2. 歯肉の全層弁での剥離・翻転を豚 顎で実践できる。 3. 各種縫合法を豚顎で実践できる。 4. 歯根明示下でのSRPを豚顎で実践 できる。 5. フラップ手術を豚顎で実践でき る。 6. 骨縁上組織付着を説明できる。 7. SRPを豚顎で実践できる。 8. 各種歯周組織検査 (ウォーキング プローブ、ボーンサウンディング) を豚顎で実践できる。 [E-5-3-3全般] 実習内容 (事前レポート) に関して 担当教員とディスカッションする。 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章148-151p、臨 床歯周病学3版187-190pを読んでま とめておく。 事後学修：実習理解が不十分であつ た箇所については、歯周基礎実習 書、講義資料や教科書等を用いて知 識および模型を用いて技能の補充を 行う。
講義	11/30 (月)	3	八重柏隆客員教授	歯周外科治療5 (歯周形成外科手術 他) 歯周形成外科手術を理 解できる。	1. 歯周形成外科の種類と適応症を 説明できる。 2. 歯周形成外科の流れ・術式を説 明できる。 3. 歯周形成外科に用いる器具を説 明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：ザ・ペリオドントロジー 4版第5章170-176p、臨床歯周病学3 版257-266pを読んでまとめておく。 事後学修：講義理解が不十分であつ た箇所については、講義資料や教科 書等を用いて知識の補充を行う。
演習	12/7 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	口頭試問 歯周病学の要点を自分 なりの表現で理解す る。	1. 歯周領域の重要項目・内容につい て規定時間内に口頭で説明できる。 [D-3-2全般、D-5-2-3全般] 事前学修：講義内容を復習して臨む こと。口頭試問リスト内容につい て、ザ・ペリオドントロジー4版全 章、臨床歯周病学3版全編、歯周病 専門用語集を読んでまとめ、口頭で 説明できるようにして臨むこと。 事後学修：口頭試問で理解が不十分 であった箇所については、講義資料 や教科書等を用いて知識の補充を行 う。
演習	12/14 (月)	3	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病学試験 (中間試験)	これまでに学んだ歯周病学の要点を 規定時間内に選択もしくは記述でき る。

講義	12/14 (月)	4	佐々木大輔教授 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	歯周病学試験 (中間試験解説)	これまでに学んだ歯周病学の要点を 振り返り、不足している知識を補填 する。
実習	12/21 (月)	3 4	佐々木大輔教授 村井 治講師 鈴木啓太助教 相原恵子助教 (歯科保存学講座 歯 周療法学分野)	実習試験 (SRP)	1. スケーリング・ルートプレーニン グに用いる器具を選択できる。 2. スケーリング・ルートプレーニン グを適切に実施できる (適切なポジ ショニングを含む)。 3. 医療安全・感染予防に配慮した SRPが実施できる。 [E-5-3-3全般] 事前学修：歯周基礎実習帳「歯周病 の病状説明」該当箇所、ザ・ペリオ ドントロジー4版第5章120-127p、臨 床歯周病学3版149-164pを読んでま とめておく。 事後学修：実習試験の理解が不十分 であった箇所については、歯周基礎 実習書、講義資料や教科書等を用い て知識および模型を用いて技能の補 充を行う。

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	臨床歯周病学 第4版	齋藤淳ほか編	医歯薬出版	2026年
教	ザ・ペリオドントロジー 第4版	沼部幸博ほか編	永末書店	2023年
参	歯周病学用語集 第4版	特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2025年
推	歯周治療の各ガイドライン	特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編	医歯薬出版	2009年

成績評価方法・基準・配点割合等

講義（65点以上で合格）：中間試験、期末試験、口頭試問の総合評価

実習（65点以上で合格）：実習（知識、態度、技能）評価、実習試験の総合評価
講義と実習が両者とも合格した場合のみ合格とする。

備考

実習評価：すべての実習に良好な態度で出席、すべての提出物を提出、すべての検印を受けることを必須とし、それらを全て守れない場合は、原則として実習評価不可とする。

実習評価対象：知識（実習内容を理解することができる）、技術（実習内容に則した手技ができる）、積極性（実習意欲があり積極的に行動することができる）、礼節（実習にふさわしい礼儀正しい話し方ができ責任ある行動ができる）。

講義・実習の減点：講義、実習ともに欠席、遅刻に応じて減点する。

再試：65点以上を合格とする。

到達目標	DP	実習	実習試験	口頭試問	中間試験	期末試験	その他	合計
1, 2	1			1	8	13		22
3, 4	1, 2			1	10	16		27
5, 6	1, 2			2.5	10	16		28.5
7, 8	1, 2			0.5	2	5		7.5
9, 10	1, 2, 3, 4	10	5					15
合計		10	5	5	30	50		100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用等）

本講義および実習では、WebClassを活用して講義・実習に関連する資料を事前に提示し、学生に事前学修を促す。講義中および実習中には、歯周病の病態把握、検査結果の解釈、診断および治療方針、ならびに各手技の目的や留意点について、質疑応答やディスカッションを行い、主体的な学修を促進する。さらに、講義・実習終了後には担当教員とのディスカッションの機会を設けるとともに、提出されたレポートを担当教員が確認し、学修内容に対するフィードバックを行う。

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
口腔内撮影用カメラ一式	EOS/X5他	1	視聴覚用機器	症例提示用資料作成
ノートパソコン・VAIO一式	VPCEH29FJ/W	1	視聴覚用機器	講義資料・スライドの作成
ソニックテクノ 歯科用デジタルカメラ	DC17-PRO	1	基礎実習・研究用機器 臨床実習用機器	講義・実習時の資料作成用
キャビトンレフト SPS	667-127	6	基礎実習専用機器	基礎実習におけるデモとして使用
ノートパソコンMacBook Air	MJVE2JA	1	視聴覚用機器	講義・実習の資料作成・提示用
メディカルビデオレコーダー	UR-4MD	1	視聴覚用機器	実際の手術術式の供覧
マクロリングライト	MR14EX2	1	視聴覚用機器	実際の症例の供覧
アイスペシャル デジタル口腔撮影装置	C-3	2	視聴覚用機器	講義資料用症例記録
ノートパソコン	CF-LV8SDKJS	1	基礎実習・研究用機器	プレゼンテーション用